

関西ワールドマスターズゲームズ 2021 に係る競技会場地の決定について

1 開催競技種目・会場地の決定について

9月2日の「IMGA理事会」での承認を受け、10月26日の関西ワールドマスターズゲームズ組織委員会理事会において、32競技55種目・開催地が決定された。

【内容】

①開催日：平成33年5月15日～30日(16日間)

②本大会の特色：世界最高峰の生涯スポーツ大会、アジア初開催、第10回の記念大会、開催場所は関西一円、世界中から選手5万人の参加目標。

③本県の開催内容：6競技、9,100人の参加目標。

【決定した競技種目および会場地】

競技名	種目	予定会場	開催市	参加目標人数
陸上競技	10km ロードレース	彦根シティーマラソンコース	彦根市	900人
カヌー	ドラゴンボート	琵琶湖モーターボート競走場	大津市	2,000人
ホッケー	—	県立伊吹運動場 長浜バイオ大学ドーム	米原市 長浜市	600人
ボート(レガッタ)	—	県立琵琶湖漕艇場	大津市	2,000人
ソフトボール	—	草津グリーンスタジアム 矢橋婦帆島公園 守山市民運動公園 布引グリーンスタジアム 長山公園	草津市 守山市 東近江市	2,500人
野球	軟式野球	守山市民球場 湖東スタジアム おくのの運動公園 長山公園	守山市 東近江市	1,100人

合計 9,100人(17.2% 関西全体：53,052人)

2 デモンストレーション競技等の検討について

関西全域で大会を盛り上げていくため、組織委員会においては、「デモンストレーション競技」の開催に加え、「開催記念大会」や「マスターズフェスタ」等の開催を検討し、大会2年前には、デモンストレーション競技の決定がされる予定。現在、本県においては、守山市でパドルテニスの開催を希望している。

3 今後の取組について

大会を通して県民が世代を問わずより一層身近にスポーツを楽しみ、健康の増進につながっていくとともに、国内・国外から多くの方が来県いただける絶好の機会と捉え、スポーツツーリズムとしても地域振興に効果が及ぶよう、県内の関係市や競技団体、県産産業団体、大学等幅広くメンバーになっていただいて滋賀県実行委員会を設立し、取り組んでいきたい。

平成28年度中

滋賀県実行委員会設立

平成29年4月～

実行委員会の運営・競技運営の準備

ワールドマスターズゲームズオークランド大会視察